

大 学 図 書 館 問 題 研 究 会 京 都

〒607 京都市山科区大宅山田町34
(Tel) 075-574-4118

京都橘女子大学図書館 小林倫道気付
(Fax) 075-574-4124

インターネットにチャレンジ — HTML体験記 —

松原 修



Welcome to
Media Center
Home Page!

Thank you for your
access!

木版画：「セントラルサーカスからメディアセンターを望む」 井堂雅夫

INVITATION TO MEDIA CENTER

- 新着情報
- 開館時間と利用資格
- 入館と退館
- 施設案内
- 館外貸出と返却
- メディアセンターに資料がない時

はじめに

インターネットについては、メディアセンターに配属されている手前、いずれはホームページを開設しなければならないというプレッシャーがありながら、課題を伸ばし伸ばしにしていました。

本当にやらねばならないという気になったのは、図書館（衣笠）のホームページが外注で作成されることになりましたが、その中にメディアセンター（くさつ）の情報を入れるつもりはないということを知られたからです。その時から、とにかく図書館よりもホームページを早く開設しようという一念でがんばってみました。

1 3 3 号 目 次

インターネットにチャレンジ（松原修）	1頁
おまけの話（高橋安司）	5頁
大図研京都数珠つなぎ（第2回）	8頁

支部報へのご意見は最寄りの支部委員または編集気付き（NIFTY-Serve:PXX01651）まで

やりはじめて思ったのですが、インターネットのホームページを作成する際に使うHTML (Hyper Text Markup Language) という言語はたいへん簡単で、わかりやすいということでした。実際に20ページぐらい作りましたが、通常の業務の合間を縫って5日間で完成しました。

ちなみに私はMACで作成しましたので、MACに限定された表現もあるかと思いますがご了承ください。また、私は基本的には素人ですので表現方法等に多少誤りがあるかと思いますがご容赦下さい。

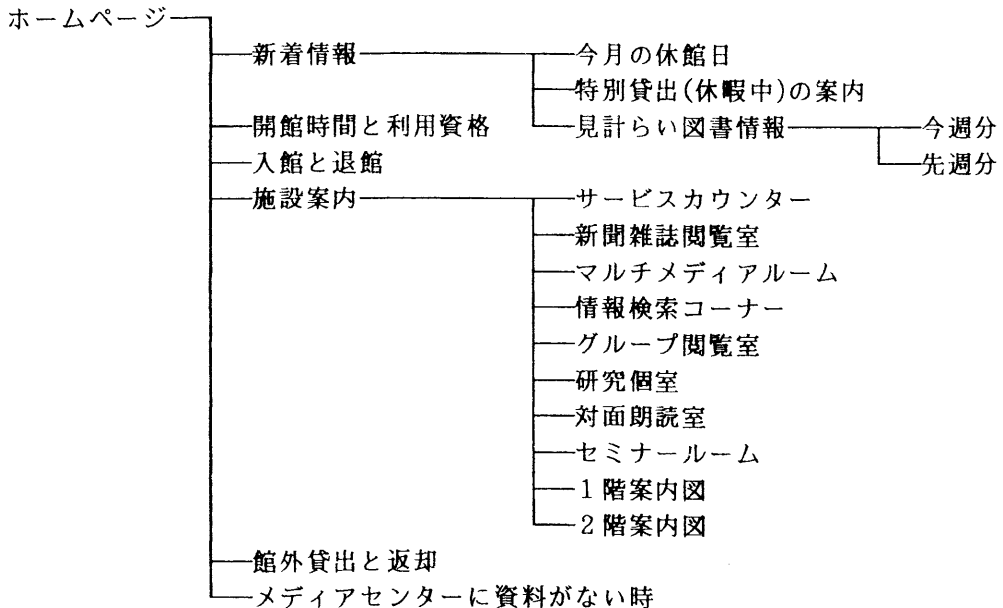
1. 準備段階

まず、インターネットのブラウザをインストールして下さい。ブラウザとしてはNetscapeが一般的です。このブラウザは、HTMLで作ったファイルをドラッグする(ブラウザのアイコンに重ね合わせる)と、その内容をブラウザ上に編集してくれます。間違った部分があれば「？」で表現されるか、間違ったまま表現されるので、ファイルを直してはドラッグするという作業を繰り返して作成していきます。

これに加えて文章を作成するソフトが必要です。現在では作成した文章をHTML形式に変換してくれる便利な代物(一太郎、Microsoft Word)もあるのでそれを活用するのも手だと思います。私の場合は研修も兼ねてシコシコ作りました。

さらに、写真とか図を取り込む場合はスキャナーやそれを編集してgifという形式で落とすソフトが必要になります。(たとえばAdobeのフォトショップなど)

以上のものが揃えば、だいたいホームページは出来るんじゃないかと思います。(実際にWWWサーバーに貼り付けたり、大学で管理しているグラフィックなどを取り込むためにはFetchなどが必要になりますが、この辺は省略します。)



2. 実際の作業

(1) まずページ構成を考えます

まずはページ構成を考えなければならないわけですが、色々な大学図書館がホームページを作っておられるので、それを参考にするのが一番だと思います。またViewでSourceを見ることが出来ますので、ページ構成だけでなくHTML自体も参考にすることが出来ます。

私の場合は、メディアセンターの利用案内をインターネットに載せようという考えでしたので、新着情報以外のページ構成はほとんど悩まなくて済みました。ちなみにページ構成を図式化すると前ページの図のようになります。

(2) 実際に作成します

HTMLでできることは、文字設定（フォントの大きさや形の設定、数式・特殊文字の表記など）、レイアウト設定（ページ内のテキスト・レイアウトやイメージの貼り込みの設定など）リンク設定（他のページやデータへのリンクの設定など）です。また、HTMLはタグによって色々な設定を指示します。タグの基本形は<TAG>~</TAG>です。

① HTMLを記述することを宣言します。

<HTML>と最初に記述します。そして一番最後に</HTML>と記述して終わります。

② ドキュメントについての情報（タイトルなどを付けます。）

たとえば、"Media Center Home Page"というタイトルを付けたい場合は、

```
<HEAD>
<TITLE>Media Center Home Page</TITLE>
</HEAD>
```

と記述します。ちなみにこのタイトルはブラウザの一番上の部分に表示されます。

③ ドキュメント本文を記述します。

本文は<BODY>~</BODY>で記述します。

文字の大きさの指定は、H1~H6までありタグで囲みます。またフォントサイズを指定することも可能です。（~）斜字体にしたい場合はその文字を<|>~</|>で囲みます。さらにその文字を強調したい場合は、~で囲むことも出来ます。

たとえば、"Welcome to Media Center Home Page"という文字をH1の大きさと斜字体で強調したい場合は、<H1><|>Welcome to Media Center Home Page</|></H1>のように記述します。

また、改行したい場合は、
を後ろに付けます。

gif形式のイメージ情報を貼り付けたい場合は、と記述すれば取り込むことができます。（xxxは任意のファイル名）

段落を付けたい場合、たとえば

```
AAA
BBB
CCC
DDD
```

のような場合は、

```

<DL>
<DT>AAA
<DD>BBB
<DD>CCC
<DD>DDD
</DL>

```

のように記述すればよいのです。

インターネットでよく見掛ける横の線はヘアラインと言って、<HR>と記述すれば表現されます。

他のページへのリンクは (〇〇〇は任意のファイル名)と記述すれば、ブラウザ上で青い文字になって、そこをクリックするとその指定したページに飛ぶようになります。

④ 出来上がったものを保存します。

出来上がったものを保存する場合は、必ず.html という形式で保存しなければなりません。

⑤ ブラウザーにドラッグしてみます。

保存したファイルを Netscape に重ね合わすと出来上がったものを見ることが出来ます。この時が一番の楽しみで、緊張する瞬間です。

3. ホームページの公開

ホームページの公開については、自分のホームに貼り付けるか、大学として公開するのならば、WWWサーバーにディレクトリーを作成し、そこに貼り付ける必要があります。この辺の詳細については、大学の計算機センターなどのネットワークの管理部署に相談して下さい。

```

<HTML>
<HEAD>
<TITLE>Media Center Home Page</TITLE>
</HEAD>
<BODY bgcolor="AABBCC">
<IMG SRC="media.gif" WIDTH="280" HEIGHT="180" ALIGN="left">
<H1><I>Welcome to<br> <STRONG>Media Center</STRONG><br> Home Page!</I></H1><br>
<I><H2>Thank you for your access!</H2></I><br>
<strong>木版画：「セントラルサーカスからメディアセンターを望む」 <a href="ido.html"> 井堂雅夫</a></strong><br>
<hr>
<dl>
<dt><I><H2> <STRONG>INVITATION TO MEDIA CENTER</STRONG></H2></I>
<dd><IMG SRC="blueba.gif"> <a href="media_10.html">新着情報</a><br>
<dd><IMG SRC="blueba.gif"> <a href="media_20.html">開館時間と利用資格</a><br>
<dd><IMG SRC="blueba.gif"> <a href="media_30.html">入館と退館</a><br>
<dd><IMG SRC="blueba.gif"> <a href="media_40.html">施設案内</a><br>
<dd><IMG SRC="blueba.gif"> <a href="media_50.html">館外貸出と返却</a><br>
<dd><IMG SRC="blueba.gif"> <a href="media_60.html">メディアセンターに資料がない時</a><br>
</dl>
<hr>
<a href="http://www.bkc.ritsumei.ac.jp/> 立命館大学のホームページに戻る</a><p>
このページについてのご意見・ご感想は下記の宛にお願いします。
<address>
<a href="mailto:media@bkc.ritsumei.ac.jp">media@bkc.ritsumei.ac.jp</a>
</address><p>
<IMG align=top SRC="http://lrbns001.bkc.ritsumei.ac.jp/cgi-bin/nph-count?width=5&link=/media_00.html"><br>
Copyright(C)1995<BR>Ritsumeikan University Media Center. All rights reserved.<br>
</body></html>

```


編集作業でお忙しいこととは存じますが、島さんの説明ではよくわからなかったかもしれませんので、余計なお世話と島さんから叱られるのを覚悟しつつ、補足させていただきます。

我が図書館で使用している業務用の機器は「FMR」です。これで学情とも接続しているわけですが、これがフロッピドライブもハードディスクも当然付いているにもかかわらず、なんとダウンロードもアップロードもできないという馬鹿な機械。「そんなアホな！」と言われますが、事実だから仕方がないのです。何度か富士通に他大学と一緒に要求したものの、そういう仕様になっていないと蹴られてしまいました(∵)

じゃあ、ILLはどうしているの? と疑問が湧くでしょう。ご存じかもしれませんが、工織、京都教育、奈良教育、滋賀、滋賀医科の5校は、京都大学附属図書館を核とするネットワーク形態を取っているのです(滋賀医大は抜けました)。そういうと格好いいですが、その実情は、京大の一部局、一学部にある端末と同格です。ですから、学情側からのデータは全てホストである京大附属図書館のコンピュータに溜め込まれ、我々はそれをILL業務終了後、データ送信を受けてプリントアウトするわけです。つまりTSSで、ホスト・コンピュータからのデータを端末側プリンタに出力する、そういうのとまったく同じことになります。そういう形態ですから、端末側にはダウンロード機能は必要ないのです。当然、学情メールを使う場合は、直接書くか、学情のエディタを使って書いたものを送るかしかありません。また、メールをハードコピーで残したい場合は、「画面コピー」するしかないのです。どうです、凄いでしょ。もう、自慢できますよこれは(^_^)

じゃあ、インターネットもOKの機器はどうなんだ、となりますが、これは情報処理センターが図書館に置いている機器で、X端末なのです。これには当然「頭」もFDDもHDもありません。館内に置かれている学生用のX端末用のサーバーが2台事務室にあり、それにはFDDもHDも付いていますが、これは「教育用ドメイン」で、ネットワークは一緒でも「事務用ドメイン」からはそのサーバーを利用できないという制限があるのです。もちろんネットワーク管理者であれば別ですが、図書館に設置されていても、あくまでも情報処理センターの機器ですからして、我々館員はネットワーク管理者ではないため、使えないわけです(;_;))

直接その教育用ドメインのサーバーにログインすれば、そのFDDが使えるはずだから、そこからメールを送ればいいじゃないかとお考えになるかと思いますが、ごく最近まで教育ドメインからは学外にメールを発信できなかったのです。やっと解禁になりましたが、なったばかりで我々にはまだその具体的な方法がわからない状態です。もっともそれ以前にUNIXマシンに慣れていなくて、「どないすんねん! ?」というところもあって、それが一番問題かとは思いますが(笑)

そして、もっと凄いことに、館内には電話回線と接続できるモデムもなければ、所謂「パソコン」もないのです。今年度内に事務用ネットワークが設置整備され、各係1台、デスクトップのパソコン(Win95がインストールされるそうです)が入って、キャンパスネットワークに接続される予定です。そうなれば、今度は島さんが直接原稿を送れるようになります。それまでは、我が工織大図書館は、ネットワーク砂漠で仕事をし続けることとなります(^_~)

ごく普通のネットワーカー、ごく普通にパソコンを使っている方には理解しがたいことでしょうが、オフコンを使い続けてきた我々には、この現状が普通の状態なのです。それで困ったことはなかったのです。どうか理解しなくてもいいですから、同情してやって下さい。いままで誰に説明しても理解した人はいませんでした。学情での

研修でも、講師の方にわかってもらえなかったくらいです。認識のズレが生じてしまうのです。まあ仕方ありません。みなさん、ご自分の環境が他でも同じだと考えられますからね。「なんで××しないの?」「どうして××できないの?」「FDD付いているんだから簡単でしょ?」「HDにセーブしてアップすりゃいいじゃない」等々、これらの言葉を聞くのが辛いです。もし、お暇が有りましたら是非一度見に来て下さい。歓迎しますよ。

長々と説明と言うよりも愚痴を書いてしまいました。編集のお邪魔をしたのでなければよいのですが…これに懲りずに、工織大図書館をよろしく願いたします。

m()m

96/02/15(木) Yasshi#(■■■■ID■■■■)

今回、一度も面識のない高橋さんとのやりとりから、はからずも工織大図書館の一面を垣間見てしまった訳ですが、これもパソコンネットワークならではのハプニングと言えましょうか。大図研の活動も、こういうメディアやインターネットをうまく利用すれば活動の幅が広がると思います。

そこで編集部からの提案。「とりあえず原稿送付の完全Eメール化を目標にしましょう(もちろん、支部報へのご意見もね)。そのために全員が何らかのパソコン・ネットに加入しましょう(例: NIFTY - Serve なら月々200円、あとは接続1分毎にたったの8円。その上インターネット接続サービス充実も時間の問題)。パソコンがなければ通信機能付きのワープロか、最悪の場合人の機械を一瞬拝借して……やろうと思えばなんとかなる。入会申し込みは雑誌の別冊やマニュアル本についているイントロ・パックがオススメ。クレジット・カードがあれば即手続きOK。そして会員同志お近付きの際には、名刺とともにIDナンバーの交換もお忘れなく」。

(追) 転載を快くご承諾頂き、また原稿代送の際にはバイナリ・ファイルでも送って頂くなど懇切丁寧を尽くして下さいました高橋さんには改めて御礼申し上げます。

◀お知らせ▶

◎ 京都支部会員異動

入 会	藤井幹子 (京都女子大学図書館)	1995.6 入会
	由本慶子 (京都大学工学部電気系図書室)	1996.1 入会
転 入	川崎良孝 (京都大学・教員)	名古屋より
	金森孝之 (京都大学人文科学研究所)	神戸より

◎ 寄 付 金 田中穰二 (元・京都大学経済研究所) 金 5,000円也

◎ 「司書」職種廃止提起を撤回し司書の採用配置の検討を求める要請書

上記要請書を大図研京都支部として東京都特別区区長会会長あて提出しました。

